

事業者における児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ溝ノロ教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守しています	今後も法令を遵守します
	② 職員の配置数は適切であるか	○		法令を遵守しています	今後も法令を遵守します
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		バリアフリー化は完了していません 児童数に合わせた教室のスペース確保を行うことができています	今後も児童の特性に応じた環境・設備の配慮を行っていきます
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日所内の清掃・消毒・換気の徹底を行っています	今後も継続します
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		カリキュラム内容や支援の振り返りを毎日行いながら、意見交換の場を設けています	引き続き多くの職員を交えた意見交換の場を設定していきます
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		評価を実施し、意見をお聞きした上で業務改善に繋げています	引き続き、保護者の意見を把握し、業務を行っていきます
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ピコだよりにて、評価表を公開した旨をお伝えしています	今後も公開していきます
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は、事業所・保護者の二者評価です	必要に応じて外部評価の依頼を検討します
	⑨ 職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		多くの研修期間を設けているため、幅広い知識の習得に繋がっています	研修で習得した知識を現場で活かしていきます
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者のニーズ・児童の発達状況に合わせた支援計画の作成を行っています	今後も引き続き、保護者からのニーズを丁寧に汲み取り、支援に反映していきます
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		所内で統一したアセスメントシートを使用しています	今後も同様のアセスメントシートを使用します
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		適切な項目の選択を図るために、保護者からのモニタリングや各専門知識を持った職員からの助言を受けて、支援内容を設定しています	今後も職員間で連携を図り、具体的な支援内容を設定していきます
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		職員全員が支援計画を確認しながら、日々の支援内容を考えています	今後も支援計画を共有しながら、支援を行っていきます

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員同士で意見を出し合いながら、活動プログラムを計画しています	今後も継続していきます
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		児童の興味関心や発達状況に合わせて固定化しない活動プログラムを計画しています	今後も継続していきます
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者のニーズ・児童の発達状況に合わせた支援計画の作成を行っています	今後も引き続き、児童の発達状況に合わせて、個別活動や集団活動を組み合わせて計画していきます
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に必ずミーティングを行っています	今後も継続していきます
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ケア記録や日誌を活用し、振り返りを行っている	今後も継続していきます
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		サービス記録を記入し、WEBで公開し、保護者に見てもらっています	今後も継続していきます
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児童の発達状況に応じて、都度モニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています	今後も継続していきます
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		相談支援事業所が開催するサービス担当者会議は参加していません	サービス担当者会議の開催がなされた場合は、子どもの状況に精通した職員が参加します
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		現在は療育センターのソーシャルワーカーと連携を行っています	今後も必要に応じて、様々な関係機関との連携を行っていきます
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		現在該当の児童は在籍していません	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		現在該当の児童は在籍していません	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育園や幼稚園へ訪問を行い、児童の情報共有と支援内容の共有を行っています	今後も継続していきます
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の要望に応じて、必要な書類等の記入や情報の提供を行っています	今後も継続していきます
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所が開催する研修には受講できていません	必要があれば、研修の受講をしていきます

との連携	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	現在は交流機会を設けていません	感染状況が落ち着き次第、前向きに検討します
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	協議会の開催がなかったため参加していません	開催された場合は、参加します
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	アセスメントや個別支援計画面談のみならず、療育後のFBも実施しながら状況の共有を図っています	今後も継続していきます
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	現在、実施できていません	感染状況が落ち着き次第、前向きに検討します
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	口頭で説明の上、同意をいただき支援を行っています	今後も丁寧な説明に努めます
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	口頭で説明の上、同意をいただき支援を行っています	
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	事業所内支援加算等を実施しながら、面談日を設けています	今後も保護者に寄り添った助言・支援を行っています
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	現在は実施しておりません	感染状況が落ち着き次第、前向きに検討します
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	児童の発達状況や保護者の相談に合わせて人員体制を整備しています	今後も対応の体制を整えていき、迅速な対応に努めます
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	HPのブログや月1回配布しているおたよりにて発信しています	今後も継続していきます
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報記載書類は、鍵付き書庫で保管・管理を行っています	個人情報の取り扱いには、十分注意し、管理・保管を行っています
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	子どもの特性や保護者に合わせた配慮を行っています	
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	現在は実施しておりません	感染状況が落ち着き次第、前向きに検討します
		㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	所内にマニュアルを設置し、保護者・職員に周知しています
㉞		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	年2回、避難訓練を実施しています	発生を想定して訓練を引き続き実施していきます

非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		アセスメント時に確認を行っています	今後も継続していきます
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事・おやつ提供は行っていません	今後も提供する予定はございません
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書を毎日作成し、職員間で共有・対応方法の共有を行っています	今後も職員間での共有・対応方法の周知を図っていきます
	④⑥	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年1回以上、研修を実施しています	今後も継続していきます
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援支援計画に記載しているか	○		契約時に身体拘束についてのご説明を行い、了承を得た上で、同意書に署名捺印をいただいています	今後も継続していきます

○この「事業所向け児童発達支援自己評価集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ溝ノロ教室

保護者数（児童数）：55名(57名) 回収数：41名 割合：75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	2			・特に気にならない	利用児童が活動しやすい環境設定を心がけていきます
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	40	1			・素晴らしいと思う	定期的に研修を受講し、質の高い支援を行えるよう努めていきます
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	15			・エントランスの扉が重くて、ベビーカーを入れづらい	インターホンが鳴ったら、ベビーカーで来ているか画面で確認し、ベビーカーが入りやすいように扉を広く開け、ドアストッパーを活用します
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	39	2			・いつも清潔で明るい	感染症拡大防止対策も含め、清掃・消毒の徹底を引き続き行います
適切な 支援提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	39	2			・よく話を聞いて、困りごとを整理してくれて有難い	利用児童・保護者のニーズに合わせた支援計画を作成してまいります
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	37	4			・ガイドラインを意識したことがなく、わからない ・テンプレートではなく、ヒアリングを基に具体的な支援内容にしていて助かっている	利用児童に必要な支援を具体的に示し、ご家庭に分かりやすい説明を行ってまいります
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	37	4			・日々お話をしている中で活動を決めてくれている	引き続き、支援計画に沿った支援を提供してまいります
	⑧ 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	37	4			・いつも子どもに合わせてオリジナル教材を作成してくれている ・子どもに合わせたプリント等、とても工夫してくれて子どもも楽しんでいる	利用児童の発達段階に合わせた活動プログラムを考え、固定化しないように工夫してまいります
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	22	14		・コロナのため交流する機会が作りにくいと思う ・今のところ、交流の案内はない	感染状況が落ち着き次第、前向きに検討してまいります
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40	1				
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	39	2				
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15	18	8		・ペアレントトレーニングの案内はない	感染状況が落ち着き次第、前向きに検討してまいります
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか	38	2	1		・プログラムの時に、苦手な部分やどこに戸惑っていたのかも知りたい ・子どものことを褒めすぎてくれるので、嬉しいが実情も伝えてほしい	保護者が子どもの発達状況を理解しやすい言葉選びをしてまいります

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・どう接したら良いのか迷い、悩んだ時、子どもの特性を考えた関わり方をアドバイスしてもらえた ・こちらからの小さな相談にも、すぐに応じてもらっている ・困りごとがあると都度時間を取ってくれ、暖かいアドバイスをもらえるため、本当に有難いし、子どもとの接し方のヒントをたくさんもらえて、感謝している ・忙しい中、たくさん支援をもらえた ・助言は、聞くとその都度回答してくれる ・親身になって話を聞いてくれたり、助言をもらえて保護者の支えになっている 	今後も引き続き、保護者が相談しやすい環境設定を行っていきます
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	12	25	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ保護者会等の案内はない ・保護者同士の連携は特に必要を感じない、このままの状態が良いと思う ・保護者会がなくても良好な関係を築けていると思う 	必要に応じて検討していきます
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	32	9		<ul style="list-style-type: none"> ・周知説明はあり、申し入れはしたことがないので、適切に対応されているかは不明 ・問題が発生し、相談したいと申し出たときに、すぐその日に時間を取ってくれた ・対応が早く救われた ・相談内容が、先生同士でよく共有されていると共に誰に聞いても返答をもらえるところが助かっている 	相談や申し入れがあった場合は、速やかに対応していきます
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	5		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回活動内容を知らせてもらえるが、子どもの行動を「～されていらっちゃった」等の表現に違和感を感じる時がある ・配慮がどの程度のことなのかは不明。思い当たるところは今のところなし 	過度な言い回しをせず、読みやすい文を作成していきます
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	35	6		<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバック内容がネットのマイページで見られるため迷いしない家族も様子を知るのを楽しみにしている 	今後もおたよりやHP、WEBマイページを通して、教室内や児童の状況をお伝えしていきます
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	37	4		<ul style="list-style-type: none"> ・教室の設計上仕方がないと思うが、他の方と先生の話が自然と耳に入ってしまうのが少し気になる 	従業者に対する研修を実施しながら、個人情報の取り扱いについて周知徹底を図っていきます
	非常時等の	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	35	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどこから脱出するのか、どこで待機するのか分かれば良いと思う
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	37	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・実施してくれた 	今後も定期的な避難訓練を実施していきます。

満足度	⑳ 子どもは通所を楽しみにしているか	39	2	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしている ・通所を楽しみに嫌なことも頑張れるようになったと思う ・本人の言葉で、伝えてくれないので分からないが、泣いたりせず通っているのが、楽しいのだと思う ・先生が大好きです ・いつも楽しくどの先生ともやり取りをしている様子が伝わってくる ・毎週「今日オレンジピコ？」と聞き、喜んで行っている ・工夫して出してくれる宿題も実施することをいつも楽しみにしていた ・一度も行きたくないと言ったことがない ・とても前向きに行っている 	<p>多くのご意見をいただけて大変有難い気持ちです。今後も引き続き、児童が楽しく通える教室運営を行って参りたいと思います。</p>
	㉑ 事業所の支援に満足しているか	39	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ピコに通所してよかったと心から思える ・言うことなし、大変満足している ・全ての先生がとても丁寧に対応してくれ、親子で楽しく通わせてもらえた ・先生方が、子どもの気持ちに寄り添ってくれるため安心して任せられる ・いつも暖かく迎えてくれ、たくさん子どものいいところを見つけてくれるため、親子で感謝している ・とても満足している ・子どものことを丸ごと受け入れてくれ、いつも笑顔で接してくれることで、子どもと保護者共に居場所になっている ・細やかで丁寧な支援で、大変満足している ・ピコで出会った先生方、お友達にたくさんのことを教えてもらい、支えてもらえた ・幼稚園訪問を実施してもらい、家庭にとっても幼稚園にとっても大変良かった 	<p>満足しているとお言葉を多くいただき、大変嬉しいです。今後も、保護者に寄り添った支援を提供できるように、従業員一同、支援の質を高めて参ります。</p>

○この「保護者向け児童発達支援評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

A 環境面

- ・毎日清掃・換気・消毒を徹底している。
- ・児童の発達状況やカリキュラム内容に合わせた環境設定を行っている。

B 児童への支援内容

- ・カリキュラム内容や支援の振り返りを毎日行いながら、意見交換の場を設けている。

C 関係機関との連携

- ・保育園や幼稚園、または保護者の希望に応じて、園訪問を実施している。
- ・療育センター等の研修に積極的に参加をしている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・運営規定については契約時に口頭で説明し、書面を渡している。
- ・オンラインシステムで活動内容のフィードバックを実施している。

E 非常対応

- ・避難訓練は年2回実施している。
- ・災害時対応マニュアルを事務室内に掲示している。

保護者による評価

A 環境面

- ・扉が重く、ベビーカーを入れづらい。
- ・いつも清潔で明るい。

B 児童への支援内容

- ・テンプレートではなく、ヒアリングを基に具体的な支援内容が記載されている。
- ・子どもの発達状況に合わせて支援内容を設定してくれている。

C 事業所からの情報発信

- ・プログラムを実施した際に、苦手な部分やどこに戸惑っていたのかも知りたい。
- ・困り事があると都度対応してくれる。
- ・子どもの特性に合わせた接し方のアドバイスをもらうことができている。
- ・子どものことを褒めすぎってくれるので、嬉しいが、実情も知りたい

D 非常対応

- ・どこから脱出するのか、待機場所はどこかをもと分かりやすくしてほしい。

E 満足度

- ・ピコに通所してよかった。
- ・いつも暖かく迎えてくれ、子どもの良いところをたくさん見つけてくれるので嬉しい。
- ・子どものことを丸ごと受け入れてくれ、いつも笑顔で接してくれることで、子どもと保護者共に居場所になっている。
- ・園訪問を実施し、園の先生とも情報共有をしてくれたので、とても助かった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・児童の特性や発達状況に合わせたカリキュラム設定を行うことができている。
- ・清潔で、明るい雰囲気の環境設定を行うことができている。
- ・園訪問や他の機関との情報共有を図ることができている。

【相違点】

- ・バリアフリーになっているが、玄関扉に重さがあり、ベビーカー対応ができていない。
- ・プログラム実施において、児童の苦手な部分や困っていることのフィードバックができていない。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・常に清潔な室内を保つことができている。
- ・児童の発達状況や特性に合わせた環境設定を行い、プログラムの実施ができている。
- ・SNSのツールを使って、保護者がすぐに相談できる体制を作れている。
- ・個別支援計画に基づいて、カリキュラムを設定し、児童それぞれに合わせた支援が実施できている。
- ・児童、保護者ともに事業所に対する満足度が高い。

事業所の改善点

- ・保護者への確かな助言ができるよう、職員の質の向上を図る必要がある。
- ・感染症対策や非常災害時対策を再度見直し、訓練を実施していく必要がある。
- ・感染状況が落ち着き次第、専門的な家庭支援プログラムの実施を検討していく必要がある。

事業所の改善への取り組み

- ・研修の参加機会を増やし、職員の専門性の質を向上させていく。
- ・家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の実施を前向きに検討していく。
- ・通所ができないご家庭には、代替支援を推奨し、継続的な支援を行える設備体制を整えていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度も昨年同様に、多くのご家庭から教室利用にあたってのルールや約束事のご協力をいただいたことで、運営を継続して行うことができました。感謝申し上げます。

「子どもと保護者共に居場所になっている」「プログラムの工夫がなされている」等のご意見をいただき、事業所への通所を楽しんでくれている児童が多くいることも知ることができ、大変嬉しく思っております。今後も感染症拡大防止に努めながら、一人でも多くの児童が、「ピコが好き」「ピコ行きたい」と思ってもらえるような教室づくりを行っていきます。

事業所名 オレンジスクールピコ 溝ノ口教室
担当者 高橋 優